



みなとからの風

〒231-8682 横浜市中区新山下3-12-1 / TEL 045-628-6100(代)

<http://www.yokohama.jrc.or.jp/>

●発行：2014年9月 医療連携センター

Contents

- | | |
|-------------------------|--|
| ■みなと赤十字病院のリハビリテーション…… 1 | ■新任医師のご紹介…………… 4 |
| ■大腸外科の腹腔鏡手術について…… 2 | ■第19回 4区医師会
みなと赤十字病院合同研究会開催のお知らせ… 4 |
| ■産婦人科のご紹介…………… 3 | |

みなと赤十字病院のリハビリテーション

リハビリテーション科 新井雅信

7月3日、当院で「がんセンター講習会」と「みなとセミナー」が、「がんのリハビリテーション（以下、リハと略します）」をテーマに合同開催されました。参加者は地域の病院、診療所など、医療、福祉関係の方々と、当院の出席者を含めて100名を大幅に超え、大盛況でした。講演会ではまず、当科の日野太郎副部長から当院のリハの実績の概要と、始まったばかりの「がんのリハ」に対する取り組みが紹介されました。続いて特別講演として、「がんのリハ」では特に高名な辻哲也先生（慶應義塾大学医学部リハ教室准教授）から「がんリハ最前線」と題し、がんに対するリハの重要性、実際の治療の進め方、治療効果、各専門職種役割などについて、詳しく包括的にお話し頂きました。がんの患者さんにリハはこれだけ多くの支援ができるのだと、私たちは深い感銘を受けました。

近年、がんに対するリハに対するリハの重要性が注目されています。今春の診療報酬改定でも「がんのリハ」は高く評価され、リハの現場でもがんに対する関心が高まっています。当科では対象になるがん患者さんはまだ少数ですが、手術で生活機能が低下する可能性がある方に対しては、手術前から手術後に備えてリハを始めます。手術後は早期からリハを開始し、身体機能、体力の低下を予防します。長期のがんの患者さんでは、がんの進行に伴い、あるいは化学療法や放射線療法の影響で生活機能が低下することがあります。こうした患者さんにもリハはとても効果的です。一方、各臓器のがんに特有な障害があります。例えば、乳がんの患者さんでは手術した側の手にリンパ浮腫というむくみが起きる、あるいは喉頭がん

や食道がんの患者さんでは食物や水分を飲み込みにくくなる場合があります。このような場合には専門的なリハ治療がきわめて有効です。

当科では日本リハ医学会認定の専門医2名、理学療法士17名、作業療法士6名、言語聴覚士4名が力を合わせ、院内各科と連携して病気で障害をもつ患者さんに積極的にリハ診療を行っています。できるだけ早く、できるだけ多くのリハを行うことが効果的な機能回復につながるのですが、これまでの臨床研究で示されています。急性期でまだ動けない患者さんや、手術直後の患者さんには集中治療室や病室で早期からリハを開始し、ある程度、動けるようになったら広いリハ治療室で、障害の種類、程度に応じて集中的にリハ診療を行っています（図）。当院のような急性期医療に高機能で対応できる大規模な総合病院で、急性期リハに総合的、系統的に熱心に取り組んでいる病院はきわめて少数です。この点は当院の大きな特色の一つであり、安心して急性期治療を任せて頂ける病院と自負しています。



理学療法室

大腸外科の腹腔鏡手術について

大腸外科 医長 中 嶋 雅 之

近年、外科における腹腔鏡下手術の割合は胆石症や胆嚢炎、虫垂炎、鼠径ヘルニアといった良性疾患から胃癌や大腸癌などの悪性疾患に至るまで、毎年増加傾向にあります。腹腔鏡下手術のメリットは美容面にとどまらず、術中出血量の減少、創感染の減少、疼痛緩和など短期での治療成績、腸閉塞の減少など長期での治療成績の向上にも大きく寄与しています。癌の手術においても、大腸癌・直腸癌では開腹手術と比べて成績に差がないというのが世界の共通認識になってきています。現在、国内で雑誌のランキングに載るような手術症例数の多い病院では、ほとんどの症例を腹腔鏡下で行っているのが現状です。

当院においても大腸癌・直腸癌に対する腹腔鏡下手術を積極的に行っており、私が赴任した2014年4月からは、他臓器浸潤や、腸閉塞を合併した症例を除くほぼすべての症例を適応として、80%以上の症例で腹腔鏡下手術を行っております。部位についても、直腸や横行結腸を含むすべての部位に対応しております。低位の直腸癌に対する側方リンパ節郭清やISR（括約筋間直腸切除）という術式も施行可能です。症例によって

は、術前放射線化学療法を行ったり、金属ステントや経肛門イレウス管を挿入したりして、放射線科や消化器内科など、他の診療科とも連携して患者さん1人1人に合わせた治療を行っております。手術までの待ち時間も、なるべく少なくできるよう努めており、現時点では多くの症例で、紹介していただいてから1か月以内に手術を行っております。また、退院後は、紹介して頂いた地域の病院・医院・クリニックの先生方と連携して患者さんのフォローアップを行っております。

写真は、直腸癌に対する、従来の開腹手術の手術創（写真1）と腹腔鏡下手術の手術創（写真2）を比較したものです。同じ手術でもこれだけ大きな違いがあることがわかつて思います。手術の内容によっては、さらに創が小さくなる（約2mm）、細径鉗子という道具を用いて、少しでも患者さんの苦痛を減らせるように工夫を重ねております。

今後も、合併症の発生率を少しでも減らす工夫を続け、患者さんにとってより安全な手術を追及し、安心して手術を受けていただけるようにしたいと考えております。



写真1：従来の開腹創

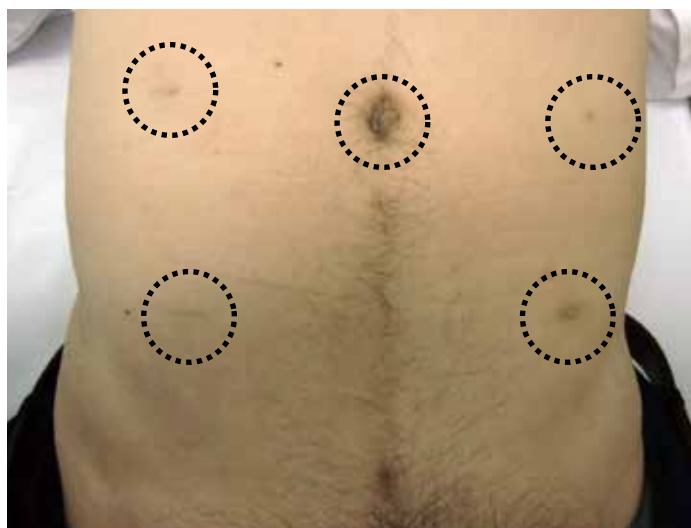


写真2：腹腔鏡下手術の創

産婦人科のご紹介

産婦人科 部長 多田 聖 郎

当院は、地域に根付いた医療を展開するだけでなく、質の高い医療を提供することにより地域の皆様に貢献できるように、がん拠点病院ならびに地域周産期センターを取得しております。この病院機能の一翼を担い、産婦人科は「婦人科悪性腫瘍」ならびに「周産期」の分野で十分な治療を提供できる体制を整えております。

産婦人科診療の中で、悪性腫瘍の治療、無痛分娩、についてご紹介します。

悪性腫瘍の診断として組織診、細胞診、CT、MRIはもとより、PET-CTも導入されており、術前の転移巣の確認、術後の再発の精査などに成果を上げております。

悪性腫瘍手術療法としては子宮頸がんに対しての広汎性子宮全摘術、子宮体がん根治術、卵巣がん根治術を行っており、さらに抗がん剤治療、放射線治療を行い、緩和ケア病棟ならびに緩和ケアチームとの連携もとれております。悪性腫瘍の治療は特殊なものでない限り、患者さんの居住地から便利なところで行うべきと考えており、当院での婦人科悪性腫瘍は、平成25年度では、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、絨毛癌、卵管癌、腹膜癌、原発不明癌の治療を担当させていただきました。

分娩は自然分娩の方針で自然な陣痛を待ち、誘発は医学的な適応が生じた場合などに限り施行しています。無痛分娩（麻酔分娩）も基本的に自然

に進行してきた分娩に対して麻酔をかける方針で行っており、24時間365日対応できる体制を取っています。麻酔方法は硬膜外麻酔と麻酔開始時に脊髄くも膜下麻酔を併用するCSEA (Combined Spinal Epidural Analgesia)を行っており、陣痛発来後の鎮痛効果も良く、産道の軟化も得られ、分娩も順調に進行します。経験豊富な産婦人科医が麻酔も担当しており、分娩と麻酔と一体として管理できる体制です。無痛分娩も平成19年1月の開始以来550例を超え、リピーターの妊婦さんも（当院の無痛分娩で3回分娩していただいた方も数人）増え、やや遠い地域（藤沢、横須賀、都内など）からの分娩予約もいただくようになりました。好評ですが、マンパワー不足より、平成26年1月の分娩予約から月に15例の制限が必要となりました。なお分娩数は80（～100）件でお受けしております。

今回ご紹介した悪性腫瘍、無痛分娩のほか、内視鏡手術（腹腔鏡手術、子宮鏡手術）、超音波胎児診断、院内助産、など、「地域に根付いた質の高い医療」を提供できるよう頑張っておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

なお、平成17年開院以来の実績は下表のとおりです。



硬膜外麻酔施行中

診療実績

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年 (1-6月)	Total
子宮頸がん手術（広汎全摘）		1	2	1	4	2	2	1	6	1	20
子宮体がん手術		2	3	6	3	6	7	9	9	4	49
卵巣がん手術		1	5	5	7	9	6	10	8	5	56
腹式単純子宮全摘		22	22	21	17	23	24	32	45	17	223
筋腫核出術		6	11	8	7	5	10	22	11	8	88
子宮脱手術		1	2	5	7	3	2	5	0	2	27
卵巣嚢腫手術		21	22	13	30	32	30	40	34	17	239
腹腔鏡手術		6	11	16	18	16	22	29	30	28	176
子宮鏡手術		1	4	7	8	6	11	12	8	7	64
円錐切除術		7	7	11	28	24	36	17	26	12	168
帝王切開		36	97	93	106	138	164	174	191	88	1,087
その他		67	72	37	37	46	31	85	86	34	495
手術総数		171	258	223	272	310	285	436	454	223	2,632
	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年 (1-6月)	Total
分娩数	344	255	506	532	630	770	616	787	932	504	5,876
無痛分娩			17	23	44	78	54	99	151	90	556
院内助産			40	97	253	285	180	230	215	106	1,406



産婦人科5C病棟スタッフ



産婦人科医師（左より、田畑、多田部長、和知副部長、高橋副部長、若松、塚本、木寺）

新任医師のご紹介

新しく就任した医師をご紹介します。今後、地域の先生方と地域医療の連携を推進していきたいと存じますのでどうぞよろしくお願いいたします。

*** 質問項目 ***

①診療科(専門領域) ②取得認定医 ③卒業大学 ④卒業年 ⑤趣味 ⑥地域の先生方へ一言!

ノムラ ヨウヘイ
野村 陽平



- ①心臓血管外科
- ②外科専門医、腹部スラントグラフト指導医、腹部スラントグラフト実施医
- ③浜松医科大学
- ④平成20年
- ⑤空手道二段
- ⑥「緊急手術も待機手術も速やかに対応させていただきます。心臓あるいは血管の手術が必要そうな患者さんがおられましたら、当院まで御紹介下さい。」

フジモリ トモナリ
藤森 智成



- ①心臓血管外科
- ③富山大学
- ④平成24年
- ⑤ラグビー
- ⑥「地域の先生方のお役に立てるよう精一杯働きますのでよろしくお願いいたします。」

ノセ ユリエ
能勢裕里江



- ①神経内科
- ③東京医科歯科大学
- ④平成23年
- ⑤手品
- ⑥「地域に貢献できるようがんばりますのでよろしくお願いいたします。」

オカモト ケイスケ
岡本 圭祐



- ①小児科
- ②小児科学会専門医
- ③東京医科歯科大学
- ④平成20年
- ⑤バスケ、ドラム
- ⑥「中区スポーツセンターでバスケをたまにやっていますので、ご興味のある先生がいらっしゃいましたら、ぜひ一緒にお願いします。地域の子供たちのためにもがんばりますので、今後もよろしくお願いいたします。」

第19回 4区医師会・みなと赤十字病院合同研究会

4区(中・磯子・南・西区)医師会とみなと赤十字病院合同研究会を10月8日(水)19:00から横浜駅東口崎陽軒で開催します。今年度は磯子区医師会にご担当いただき、医師会より1演題ご提示いただく予定です。

また研究会後は、ささやかながら情報交換会を予定しております。多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。



◀会場風景



◀第18回 南区医師会 榎山先生

第19回4区医師会 みなと赤十字病院合同研究会

日時: 2014年10月8日(水) 19:30~
場所: 崎陽軒本店 4階「ダイナスタイ」横浜西区高島2-13-12
対象: 4区医師会(磯子区・中区・南区・西区)会員

プログラム

- ◆ 情報提供 (19:30)
アルツハイマー型認知症治療剤「メマリ-00錠」 第一三共株式会社
- ◆ 開会挨拶 (19:40) 磯子区医師会 会長 武安 宣明 先生
- ◆ 特別講演 (19:45)
「当院の成人アナフィラキシー診療事情」
座長 磯子区医師会 林内科医 院長 林 千明 先生
演者 みなと赤十字病院 アレルギーセンター センター長 中村 隆一
- 「アルツハイマー型認知症の治療:現状と展望」
座長 みなと赤十字病院 神経内科 副院長 田中 定明 先生
演者 磯子区医師会 いなほクリニック 副院長 都甲 崇 先生
- ◆ 閉会挨拶 (20:45) みなと赤十字病院 院長 西宮 謙一

*本研究会は日本医師会生涯教育推進課(1票制)です。
2014年10月10日(金)19:00~19:30(1票制)開催予定です。
*講演料は、情報交換会に含めてお任せします。
*当日は、ご参加いただいた方、ご講演をされた方に、お礼状を差し上げます。
なお、ご講演料に含めず、ご講演をされた方に、お礼状を差し上げます。
明細を添付させていただきます。併せてご講演料ご報告書(ご報告書)を提出させていただきます。
※本研究会は、みなと赤十字病院 主催です。

紹介患者さんのお問い合わせご予約は医療連携課

電話 045-628-6365 (直通) / FAX 045-628-6367 (直通FAX)
E-mail: minato-renkei@yokohama.jrc.or.jp



横浜市立みなと赤十字病院

〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3丁目12番1号
TEL 045-628-6100(代表) FAX 045-628-6101

日本赤十字社